

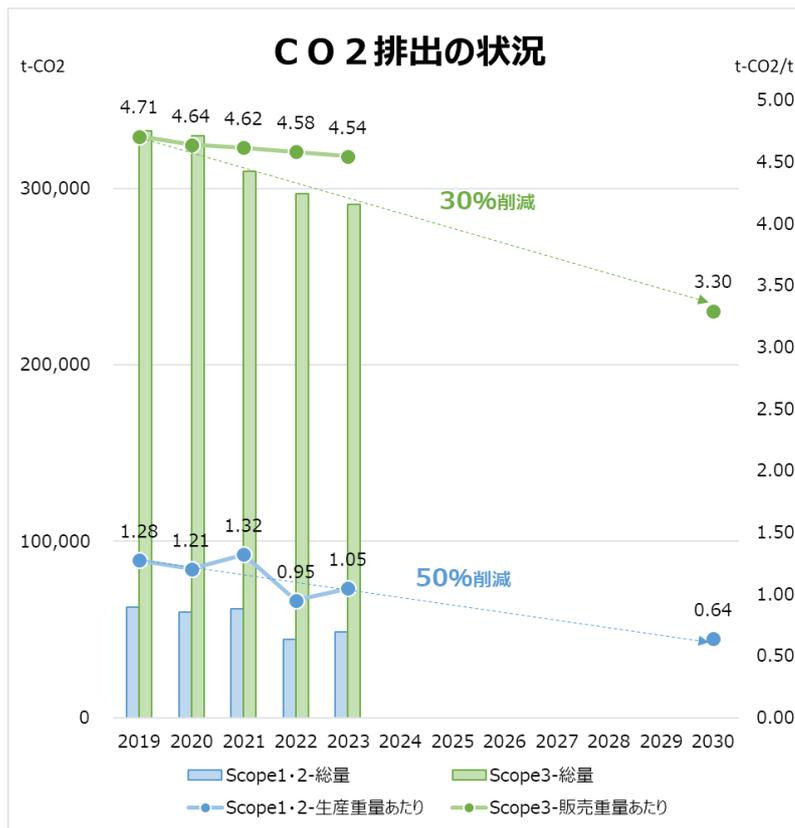
MPGエコアクションレポート 2022 (2023年7月発行)

1. CO2の排出量の削減状況
2. 再生材・植物由来材の使用状況
3. 当社製品をリサイクル可能にするための活動状況
4. 当社環境パフォーマンスの外部への開示状況

1 CO2の排出量の削減状況

当社は事業活動に伴うCO2排出量をScope1・2、Scope3に分け、生産（または販売）した製品の総重量で除した「CO2排出原単位」を管理指標としております。その推移を次のグラフに示します。（22年度までは実績、23年度は計画）

資料 1



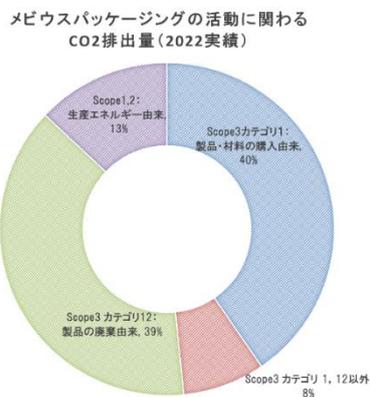
メビウスパッケージングが所属する東洋製罐グループは2030年における中長期的なGHG排出量削減目標において、国際的な環境団体であるSBT（Science Based Targets）イニシアチブから、「1.5℃目標」での認定を取得しております。当社はこの目標を達成させるべく自社排出量の管理をしております。

Scope1・2については、98%が電力調達によるものであり、省エネ投資や生産効率の改善等の電力使用量削減活動に取り組んでおります。2022 年度は非化石証書による再生エネルギー調達を2815[t-co2]分実施しております。2023 年度以降も省エネ活動とともに非化石証書による再生エネルギーの調達により、当社の2030 年度目標値 0.64[t-CO2/ton]に向けて計画を達成させる予定です。

Scope3については、当社の活動による排出量の約8割を占めますその内47%が購入した材料や製品に起因し、45%が使い終わった製品の廃棄処分に伴うものとなります。この削減にあたっては、製造時や廃棄処分時のCO2 排出量が少ない材料に切り替えること、バリューチェーン全体で廃棄処分後に焼却処分される比率を低減していくこと（＝リサイクル比率を上昇させることや軽量化による樹脂の使用量減）が重要になります。当社製品への非化石由来の樹脂（再生材・植物由来材）採用については増加しておりますが目標達成には至っておらず継続して調達及び採用活動をお得意様のご協力の元推進してまいります。その他、岐阜プラスチック工業株式会社様のご協力により社内廃棄材及び廃棄パレットを再生材として活用したパレットを調達する取り組みなども実施しております。

中長期目線では総量の削減を加速させるべくリサイクル比率の向上を目指す取り組みも推進しつつ排出原単位を下げため、サプライチェーン全体を通して原料メーカーにも協力いただくようしながら目標達成を目指していく考えです。（資料3）

資料 2



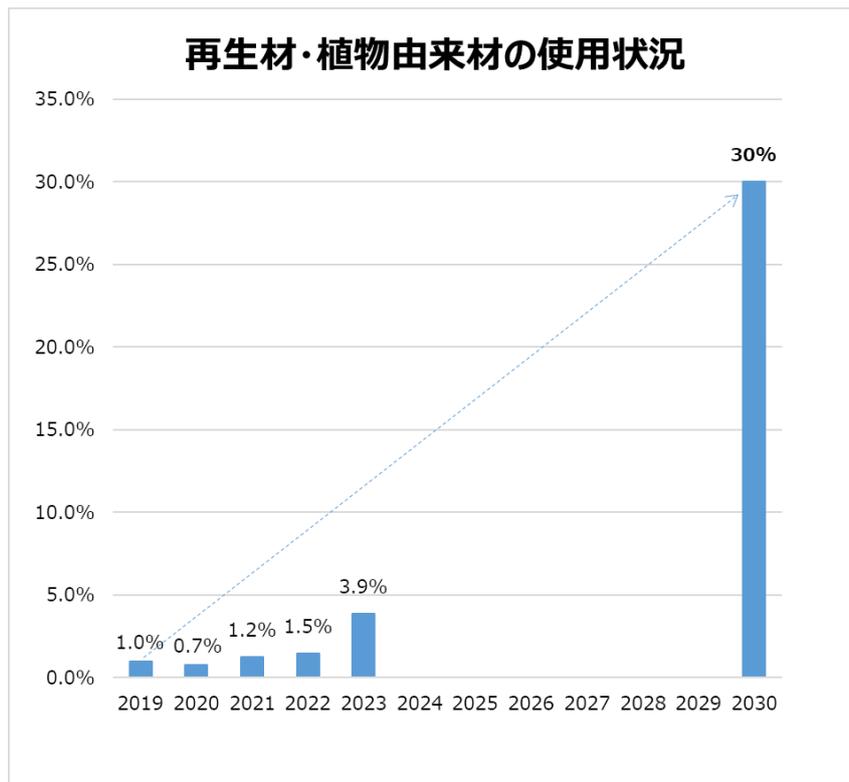
資料 3



再生材・植物由来材の使用状況

当社は再生材・植物由来材の使用比率を 2030 年度に全体の 30%以上まで引き上げる目標を設定しております。この比率の推移を次のグラフに示します。（22 年度までは実績、23 年度は計画）

資料 4



2022 年度は食品・非食品用途をともに再生材・植物由来材の採用製品が増えましたが、2021 年度の 1.2%から 1.5%と微増となっています。現在も多くのお客様と採用に向けた評価を進めており、2023 年度も比率の上昇を見込んでおります。

2 当社製品をリサイクル可能にするための活動状況

日本国内のプラスチック容器は、飲料と一部調味料で構成される PET ボトルが使用後に回収され、再び PET ボトルとして再生される循環ループを構築していますが、それ以外のプラスチック容器では、まだそこまでの状況に至っていません。当社で扱う製品は後者のものが多いため、当社ではリサイクル技術開発の企業間連携の取り組みに積極的に参加し、その課題解決に貢献をする活動を推進しています。

【現在参加中の取り組み】

- ・NEDO 革新的プラスチック資源循環技術開発
- ・CLOMA WG-2（マテリアルリサイクルの取り組み）

3 当社環境パフォーマンスの外部への開示状況

①CDP を通じた情報開示

当社は 2019 年より CDP の気候変動質問書に詳細情報を回答し、お客様への情報開示を行っております。CDP からの評価内容については、真摯に受けとめ、自社活動の各種改善に役立てております。

②CO2 見える化サービスによる製品別 CO2 排出量情報の開示

当社の所属する東洋製罐グループでは、2021 年末より、グループのお客様への製品別 CO2 排出量情報（※）の開示サービス（「CO2 見える化サービス」）をスタートさせており、現行製品の実績のみならず仕様変更による削減効果などを分かり易く提示させていただいております。本サービスを通じて、お客様に数値の根拠に裏付けられたご提案をさせて頂きながら、取り組みを加速させて参る所存です。

※本排出量は、エコリーフ環境ラベルプログラム（カーボンフットプリント）を参考に、東洋製罐グループ共通の算定ルールを定め、算定しております

上記に関するお問い合わせは以下までお願いします。

メビウスパッケージング株式会社 環境・品質保証部

有吉健司（☎ kenji_ariyoshi@mebius-pkg.co.jp）